

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念など活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決にむけて構想したりする力や、考察したことを説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが周辺諸国の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 | ・古代の歴史の変遷と、現代の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・原典史料から読み取った情報の意味や意義、特色などを自ら考察し、表現している。 | ・中学校社会の授業や昨年の「歴史総合」での学びを生かし、世界史を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|--|--|---|---|---|----------|
| A 単元 世界史へのまなざし 第1章 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 ・各地の文明および文化的遺産について理解する。 ・民族の移動・興亡がその地域にもたらした変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史料を基にして、自然環境と生活や文化との関連性や、農耕・牧畜への変化など、人間の生活の変化について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・日常生活と世界史の繋がりについて、興味・関心を持ちながら学習に取り組む | ・指導事項 世界史へのまなざし1 1. 文明の誕生 2. 古代オリエン特文明とその周辺 3. 南アジアの古代文明 4. 中国の古代文明について（殷周の時代まで） | 【知識及び技能】 ・自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 ・オリエン特、南アジア、中国の古代文明について理解している 【思考力、判断力、表現力】 ・日常生活の中に世界史とつながっているものを見出し、自分自身と世界とのつながりを多面的・多角的に考察している。 ・資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代文明、文明の誕生、オリエン特文明、南アジア、中国の古代文明について、自らが抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 21 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 1 学期 B 単元 第1章 中国史 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 ・秦・漢帝国の形成の歴史とその諸制度を理解する。 ・魏晋南北朝国家の形成の歴史とその諸制度を理解する。 ・遊牧民族の変遷と中国との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遊牧民族と中国王朝の関係について説明できるようになる。 ・鮮卑系国家がなぜ漢化政策を行ったのか、その理由を考察し、説明できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・古代中国における遊牧民族と中国との関係が現代とどのようにつながるか自ら考える。 | ・指導事項 4. 中国の古代文明（続き） 5. 南北アメリカ文明 6. 中央ユーラシア 7. 秦・漢帝国 8. 中国の動乱と変容 9. 東アジア文化圏の形成 | 【知識・技能】 ・遊牧民族の生活及び、中国と遊牧民族国家の関係を理解する。 ・魏晋南北朝～隋唐時代の流れを理解する。 ・中国の文化を中心とした東アジア世界の文化を理解する。 【思考・判断・表現】 ・秦・漢・魏晋南北朝時代における遊牧民族と中国人の関係について適切に説明できる。 ・鮮卑系国家が少数民族でありながら、漢化政策を通してどのように中国王朝を築き上げたのか説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遊牧民族及び中国王朝、両勢力の関係について、自らが抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 22 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|-------------|---|--|--|---|---|---|----|
| 2 学 期 | <p>C 単元 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展 開 第4章 西アジアと地中海周辺の国 家形成 (途中まで) 【知識及び技能】 ・仏教やジャイナ教について理解す る ・マウリヤ朝、クシャーナ朝など、 インドの統一王朝について理解する 東南アジア、イラン、ギリシアの風 土や文化について理解する 【思考力・判断力・表現力等】 ・仏教やジャイナ教の成立過程につ いて考え、説明することができる ・インド統一王朝と仏教の関係、中 国からのやってくる仏教徒との関 連、ギリシア世界と仏教の関連をせ つめいできるようになる。 【主体的に学習に取り組む力等】 ・南アジア諸国家、東南アジア諸国 家、古代ギリシアの世界について自 ら学習に取り組む。</p> | <p>・指導事項 10. 仏教の成立と南アジアの統一国 家 11. インド古典文化とヒンドゥー教 の定着 12. 東南アジア世界の形成と展開 13. イラン諸国家の興亡とイラン文 明 14. ギリシア人の都市国家</p> | <p>【知識・技能】 ・南アジアで生まれた様々な宗教が諸地域に 与えた影響を理解する。 ・イラン系国家の興亡について理解する。 ・アテネに民主政が登場した経緯を理解す る。 【思考・判断・表現】 ・『エリュトラー海案内記』の資料をもと に、インド洋交易の広がりについて考え、表 現できる。 ・東南アジア、南アジア、中央アジア、中国 及びその他国家との交流・交易について考察 して表現できる。 ・オストラコンに関する資料をもとに、アテ ネ民主政の仕組みを考察して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インドの古典文化や東南アジアの諸国家、 イラン文明、古代ギリシア時代について自ら 抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいこ とを見出して学習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 21 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | <p>D 単元 第4章 西アジアと地中海諸地域の国家形成 (途中から) 第5章 イスラーム教の成立 第6章 イスラーム今日の伝播と西アジアの 動向 (途中まで) 【知識及び技能】 ・ローマ共和政の特徴をアテネ民主 政と比較して理解する。 ・キリスト教の成立の過程、ローマ 帝国とキリスト教の関係について理 解する。 ・イスラーム教の成立、アラブ帝国 からイスラーム帝国の成立、イス ラーム文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ローマが王政、共和政、帝政と変 遷していく過程を考察して表現でき る。 ・キリスト教とローマ帝国がどのよ うに関係を築いていくのか、自ら考 察して表現できる。 ・ウマイヤ朝、アッバース朝の時代 にかけてイスラーム勢力の支配の特 徴について考え、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・ローマと地中海世界、キリスト 教、イスラーム教、イスラーム勢力 について自ら興味・関心を抱き、学 習に取り組む。</p> | <p>15. ローマと地中海世界 16. キリスト教の成立と発展 17. アラブの大征服とイスラーム政 権の成立 18. イスラーム教の諸地域への伝播 19. 西アジアの動向</p> | <p>【知識・技能】 ・ローマの勢力拡大の過程と、キリスト教を ローマ帝国がどのように利用しようとして いたのか理解する。 ・イスラーム教がどのように成立したか、短 期間で勢力を拡大したのか理解する。 ・各地でどのようにイスラーム化が進むの かを理解する。【思考・判断・表現】 ・資料をもとに、ローマ帝国が地中海世界を 統一し、それを長年維持できた理由を考え、 表現できる。 ・イスラーム教の成立が西アジアや北アフ リカの社会に与えた影響について考察して表 現できる。 ・イスラーム教のの伝播・拡大においてトル コ人の果たした役割について考察して表 現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共和政ローマ、帝政ローマ、ムハンマドの 時代、正統カリフ時代、ウマイヤ朝以降のイ スラーム王朝について、自ら抱いた興味・関 心や疑問、追求してみたいことを見出して学 習に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 22 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|--|---|---|---|-----|
| 3 学 期 | E 単元 第5章 ヨーロッパ世界の形成 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 ・ヨーロッパの自然条件と民族大移動について理解する。 ・カールの戴冠の歴史的意義について理解する。 ・十字軍遠征の経緯と、社会への影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民族大移動が発生した原因を、自然条件と結び付けて考え表現することができる。 ・カールの戴冠の要因をローマカトリック教会との関係、イスラーム勢力との関係から考察して表現できる。 ・十字軍発生の要因、十字軍における諸勢力の利権争い、十字軍後の教皇権と皇帝権の変化について自ら考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・ヨーロッパ諸地域の変容を始め、フランク王国や英・仏・神聖ローマ帝国を中心とした国家の動きについて自ら興味・関心を抱き、学習に取り組む。 | 20. ヨーロッパ世界の形成 21. 西ヨーロッパの封建社会とその展開 22. 東ヨーロッパ世界の展開 23. 西ヨーロッパ世界の変容 24. 西ヨーロッパの中世文化 | 【知識・技能】 ・西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれのようにして独自の世界を形作るか理解する。 ・中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について理解する。 ・中世の西ヨーロッパ文化にキリスト教が大きな影響を与えていることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴について考察して表現できる。 ・西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係を踏まえ、十字軍がヨーロッパに与えた影響を考察して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・東西ヨーロッパ世界について、自ら興味・関心を抱き、追求してみたいことを見出して学習に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | 117 |